

2026年9月3日

【NEWS RELEASE】

各位

兵庫県神戸市中央区播磨町 21 番1

株式会社さくらケーシーエス

社長自ら「AI社長」を生み出し、全社AX推進を加速、「新たな価値を創造する」ステージへ ～AIを通じた社内交流イベント「社長のツッコミ先読みしChao」を開催～

株式会社さくらケーシーエス(本社:兵庫県神戸市、取締役社長:加藤 貴紀、以下「さくらケーシーエス」)は、AIを活用しながら、経営者の視点や考え方を学ぶ社内交流イベント「社長のツッコミ先読みしChao」を開催しました。本イベントでは、社長自らが作成した「AI社長」と全社から選抜された8チーム16名が作成した「AI社長」の回答精度を競いました。それぞれの「AI社長」が繰り出す「事業計画の進捗報告に対する社長のツッコミ」を比較することで、AI活用スキルを競うとともに、経営視点への理解を深め、2026年4月より開始した[中期経営計画](#)の推進力向上を図りました。

本イベントを通じて、社長自らがAIを活用する姿を示すことで全社のAI活用を加速させるとともに、AIをきっかけとした社長と参加者の対話が、社員の経営視点を醸成するきっかけとなりました。今後も、継続的な取り組みによって、その成果をさらに広げてまいります。

1. 取組みの背景

さくらケーシーエスは、AIを「ビジネスプロセスの変革」と、「新たな価値を創造」を実現する重要な手段と捉え、AX (AI Transformation)戦略を推進しています。これまでも「生成AIプロンプトコンテスト」などを通じて、全社的なAI活用を進めてきました。AI活用を一過性の取組みに留めず、企業文化として定着させるためには、社員だけでなく経営層自らがAIを活用し、その可能性を示すことが重要です。また、社員一人ひとりが、経営に参画しようとする企業文化への変革を進めることが、中期経営計画の推進力向上に寄与すると考えております。

2. イベントの概要

「社長のツッコミ先読みしChao」は、事業部ごとのチームに分かれ、事業計画の進捗報告を読み、「社長ならどこに着目するのか」「どのような質問をするのか」を考えながら、「AI社長」を作成するイベントです。作成中は社長への質問も可能とし、社長の考え方や着眼点を直接聞き出すことができるルールとしました。参加者は、社長から得たヒントを「AI社長」に反映しながら、より「社長らしい」回答を目指して試行錯誤しました。

また、成果発表では各チームが作成した「AI社長」の回答を発表し、社長賞、審査員賞、特別賞の3つの賞を設けて表彰しました。

イベント名	社長のツッコミ先読みしChao
開催日	2026年8月27日
参加者	株式会社さくらケーシーエス 各事業部の代表2名ずつ(8チーム16名)
開催目的	■ AI活用の促進

	■ 経営視点の醸成 ■ 社長と社員の交流
内容	事業計画の進捗報告を題材とした生成AI活用(「AI社長」の作成)
審査方法 表彰	■ 社長自らが選出する「社長賞」 ■ 審査員が評価する「審査員賞」 ■ AIによる評価で選出する「特別賞」
事務局	経営企画部・AX推進部



▲社長(左)、AX推進部長(右)とともに「AI社長」を作成 ▲「ツッコミを先読み」、参加者も「AI社長」を作成

3. 今後の展開について(経営企画部長コメント)

今回のイベントでは、社長との接点が多い中堅・ベテラン社員と、先行してAIスキルを磨いてきた若手・中堅社員のペアが、互いのノウハウとスキルを活かしてAI社長を作り上げました。「AI社長を作る」という課題は参加者には事前に伏せており、当日その場で初めて内容を知る形としました。事前準備なしの状態から40分で完成させる難易度の高い課題へのチャレンジとなりましたが、すべてのチームが自ら所属する事業部の特色を反映したAI社長を見事に完成させてくれました。

その結果に、全社でAI利活用を促進し、「ビジネスプロセスの変革」と、「新たな価値を創造」を実現するという方針が浸透していることを実感し、当社のAXは「試す・利用する」ステージから「新たな価値を創造する」ステージへ着実に進んでいることを確信しました。

AIは魔法の杖ではありません。業務ノウハウとAIスキルを融合させてこそ、大きな力となります。さくらケーシーエスは、社員一人ひとりがAIを活用して自ら考え、挑戦する機会を広げるとともに、人とAIがそれぞれの強みを活かして協働し、新たな価値を生み出す組織への変革を目指します。こうした取り組みを通じて、AIを活用した業務・事業の変革を担う人材と組織を育て、全社的なAXの推進と中期経営計画の実現につなげてまいります。

執行役員 経営企画部長 南野 耕三

以 上

■ 商標等について

記載されている各社の企業名、製品名、サービス名は各社の商号、商標または登録商標です。
記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付加していません。

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社さくらケーシーエス IR・広報室
TEL:078-391-6571